

大切なのは「奉仕する」という精神

公務員特集

青森北高校の卒業後の進路先には、進学だけではなく、「公務員の合格者数が多い」という特徴があります。ここでいう「公務員」とは、高校卒業後に公務員として勤務することを指します。青森北高校では毎年20名ほどが公務員として進路を決定しています。今回はその「公務員」という進路について、詳しく紹介します。

そもそも「公務員」とは？

公務員

国や地方自治体に勤務し、社会の基盤づくりや公共サービスを担う職員のこと

国家公務員

中央省庁や裁判所、自衛隊などで勤務し、全国規模の政策や行政業務に携わる職員
(例)国家公務員、裁判所職員、税務職員、自衛隊等

地方公務員

都道府県や市町村の行政機関で勤務し、地域に密着した業務を担当する職員
(例)市役所職員、警察官、消防士、学校教員等

公務員の中には、学校教員のように大学卒業が採用条件となる職種もありますが、高校卒業後でも国家公務員や地方公務員の様々な職種に応募することができます。

高卒で応募できる職種

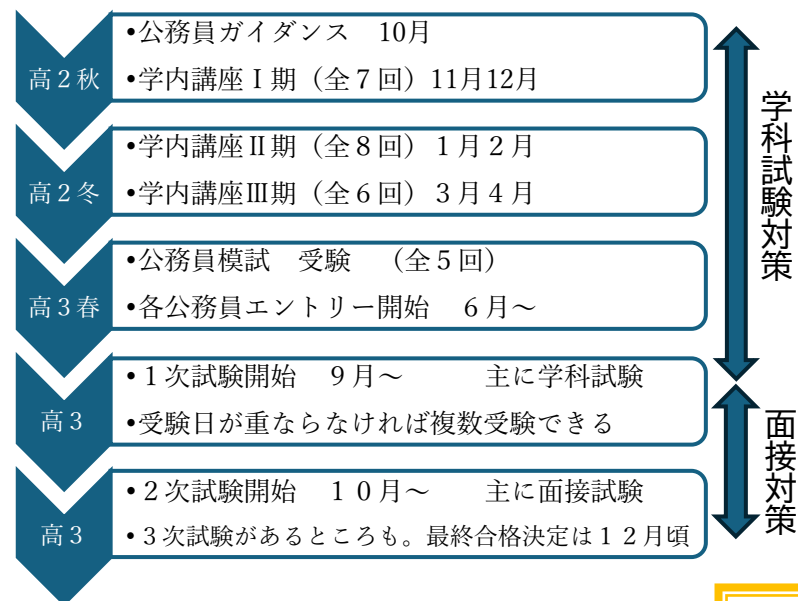
国家公務員

国家公務員一般職：各府省に採用後、一般的な行政事務に従事する
税務職員：税務署での国税の調査・徴収などの事務に従事する
刑務官：刑務所での安全管理、収容者指導などの保安業務を行う
海上保安大学校学生：領海警備、海難救助等の業務を行う
自衛官：一般曹候補生（陸、海、空）、2等陸・海・空士 他

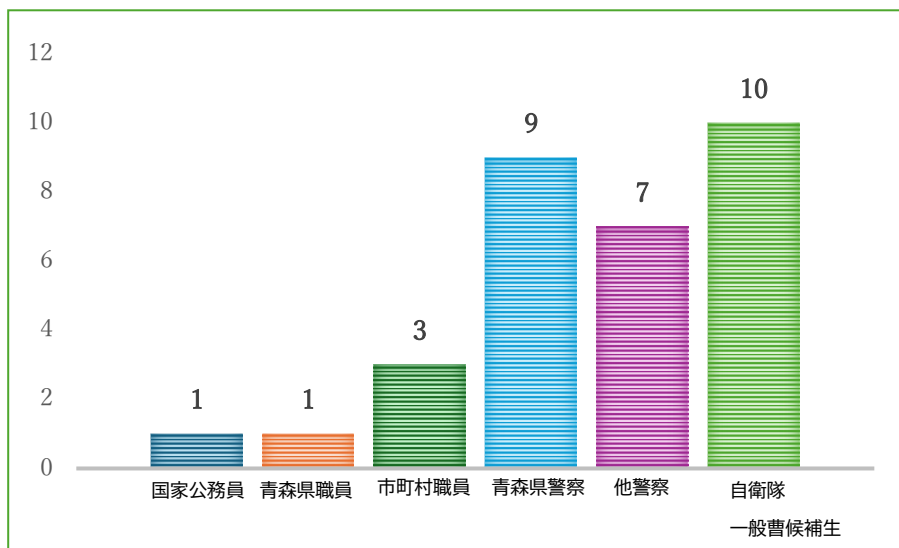
地方公務員

事務職（行政職）：一般事務、学校事務、警察事務など
公安職：警察官、消防官など、地域の安全・防災に関わる業務

青森北高校の公務員試験合格までの流れ



青森北高校の昨年度の公務員合格者数（のべ人数）



公務員学内講座とは

青森北高校の公務員合格者が多い要因の一つに「公務員試験対策学内講座」があります。これは高校2年生の2学期から始まるもので、公務員試験対策のプロである予備校の「(株)東京アカデミー」と連携し、高校にその道のプロである講師の先生が来てくれて、放課後に学校で講習をおこなってくれます。わざわざ予備校に通わなくても、学校で専門の講習を受けることができるので、公務員を目指す生徒にはとても良い環境にあります。また、3年生になってからも、公務員試験について説明したり、実際の試験のエントリーの際にもアカデミーの方が来てくれてサポートしてくれます。本校の公務員対策に東京アカデミーさんに大変お世話になっています。

公務員について、各種説明会を実施しました！



○税務職説明会（5月13日（水））

1～3年までの計13名参加。

国家公務員である税務職員について、仕事の内容や税務職に就く上で心構えなどをわかりやすく説明してくれました。

○自衛隊説明会（6月29日（月））

1～3年までの計33名参加。

自衛隊について、陸海空の推しポイントなど、わかりやすく説明してくれました。



○北海道警察説明会（7月3日（金））

1～3年までの計24名参加。

人気の警察職です。中でも北海道での警察業務について、仕事の内容などをわかりやすく説明してくれました。

○自衛隊インターンシップ（6月26日（金）午後）

2年生計23名参加。実際に駐屯地へ行き、自衛隊について説明を聞き、体験活動を行いました。



【3学年】民間就職組も頑張っています！

今年度の求人票が公開されました

7月1日、今年度の求人票が解禁になり、民間就職の求人が、続々と進路指導部宛に届いています。求人票とは、仕事内容や雇用形態、勤務地や給与、福利厚生などの最も基本的で重要な情報が掲載されているものです。これらを見比べて、自分にとって譲れない条件をもとに応募先を絞ります。その後、夏休み中に会社・企業見学などに参加後、応募先を最終決定します。履歴書を書き上げ（8月13日頃までに）、出願をし、9月16日以降に就職試験を受けます。夏休み中も出校して、履歴書作成や面接、作文練習などを行います。



3学年進路講演会を実施しました

進学：「志望理由書の書き方講座」
講師：繁泉 祐幸氏（みやぎの教育工房）
就職：「就職活動の進め方・自己分析・求人票の見方」
講師：神 祐紀子氏（ジョブカフェあおもり）

6月18日（木）7校時、3学年の進路講演会を行いました。希望進路ごとに進学と就職にわかれ、体育館と視聴覚室で実施しました。進学では、入試のポイント、求められる力、評価の割合のお話から、志望理由書がとても重要であり、すぐく時間をかけて書かなければならない、というお話をされていました。生徒たちもメモを取りながら真剣に聞いていました。講演会後に、2名の代表生徒の志望理由書を個別に添削してもらい、繁泉先生から多くのアドバイスをもらっていました。また、就職も就職活動の進め方、仕事分析、求人票の見方、履歴書の書き方などこれから始まる就職活動に必要な多くのことを丁寧に説明し、わかりやすく講演してくださいました。民間就職希望者も公務員志望者も真剣に聞いていました。

【生徒の感想より】

・なぜその学校・学部でなければならないのか、明確な意志が必要で、高校時代の活動を自分の言葉でしっかりと伝える力が大切だとわかりました。
・きっかけよりも、なぜ大学に進学するのに至ったのか、どういうことを学びたいのかという内容が大切だとわかり、安心したし、その部分に力を入れていきたいと思った。

【1～3学年】進路の手引説明会を実施しました



3学年：6月9日（火） 2学年：7月7日（火）
1学年：6月30日（火）

今年度の「進路の手引」が完成し、各学年で説明会を実施しました。

手引には本校の進路先や合格状況等様々な情報が載っています。また今年度は、昨年度大雪で実施できなかった「合格者体験報告会」で予定していた先輩たちの報告をまとめ、最後に掲載しています。「国公立大学受験・合格状況」も新たに作成しました。「合格体験記」なども載っていますので、是非隅々まで読んでください。家に持ち帰り、保護者の方々と一緒に読むことをお勧めします。



合同企業説明会に参加しました

7月6日（月）ハローワーク主催の合同企業説明会がホテル青森で行われました。本校から民間就職希望者の3年生12名が参加し、自分の興味のある企業の説明を複数社聞いてきました。

会社の説明を聞き、求人票をよく見て、その会社で自分の働く姿をイメージして、しっかりと考え、保護者と相談した上で、受験する会社を決定します。

誰よりも早く社会の一員になるので、ミスマッチを防ぐためにもよく調べて、企業分析をしましょう。

保護者進路研修会(進学)を実施しました

講師：追手門学院大学客員教授 倉部 史記氏

6月20日（土）保護者進路研修会を実施しました。当日は68名の保護者が参加しました。第1部では「本校での進学状況について」として、進路主任の宮本先生から上級学校及び選抜方法などについて、本校の進学状況を踏まえお伝えしました。

第2部では「後悔しない進路選択のために大切なこと～保護者にできるサポートのあり方～」と題して、倉部先生に講演をしていただきました。子ども達が生きる今後の社会、高校卒業後のリアル、保護者が知っておくべきポイントなど、とてもわかりやすい講演でした。最後に保護者の方からの質問にも親身に答えていただき、保護者の方々にも大変好評でした。

【保護者アンケートより】

とても分かりやすかったので、是非子どもたちへの講演も今後お願いしたいです。大人も勉強になりました。／現状の受験の仕組みがわかりました。／とても勉強になりました。子どもと共有します。／自分が大学受験した時とずいぶん変わっているのをお話を聞けて良かったです。／本人主体！見守る保護者として1年頑張ります。

青森公立大学 高大連携講座に参加しました

青森公立大学との高大連携講座を毎年実施しています。今年度は2回計画されており、そのうちの1回目が「AIは私たちを幸せにするのか？」をテーマに7月1日（水）青森公立大学で実施され、22名の生徒が参加をしてきました。実際の大学という場所で、大学の先生の講義を聴き知識を深めました。

【生徒の感想より】

・現在のAIはまだまだ発展途上であり、今後より強力なAIが生み出されることが分かった。
・「あくまでAIは感情がない」ということを意識して、AIに引っ張られすぎないように使用していきたいです。
・AIはパターンを真似しているだけで、実際は理解しているわけではなく、長期的な記憶は持ち続けることができないので、人間の方が優っている部分もあり、人間がうまくAIを活用する方法を考えたい。

【3学年公務員】試験ガイダンスを実施しました

6月16日（火）東京アカデミーの福田さんをお招きし、3年生の公務員志望者を対象に公務員試験ガイダンスが行われました。前半は公務員の種類や、公務員試験の概要についての内容のガイダンスを行いました。

後半は、その上で自分で実際に国家公務員試験のエントリー（申し込み）を行いました。3年生20名が無事にエントリーを完了しました。これから市町村役場や都道府県警察などの試験の申し込みがあります。申し込みをしないと試験を受験できないので、自分で受験する職種のスケジュールを把握し、期日を守って確実に申し込みをしましょう。



【3学年進学】国公立大学担当者決定！指導開始

6月に3年生の国公立大の総合型・学校推薦型選抜受験希望者は、個別指導希望の仮登録を行いました。国公立大学は特に難易度が高く準備にも時間がかかるため、本校では早めに全職員での指導を開始し、それぞれの先生方が数名の生徒を受け持つ、時間をかけて準備しています。担当の先生方へ挨拶をすませ、7月からは順次志望理由書の作成と面接、小論文やプレゼンテーション等の個別指導が始まりました。

夏休みを利用して本を読み、関連する事柄について詳しく調べ、必要なら体験活動や課外講座に参加するなど、やるべきことが多くあります。大学入学後の学力維持や、不合格となった場合には、一般入試で挑戦する可能性もあります。講習や模試を通じて学力を高める努力は必要不可欠です。